

1. 循環機能検査

1-1 安静時心電図



安静時心電図検査とは？

心臓は全身に血液を送るポンプの働きをしています。この機能は心臓の筋肉が伸びたり(拡張)、縮んだり(収縮)することで保たれています。このように心臓が動くのは、心臓の一部から電気的な指令がでて、心臓全体に伝わっていくためです。この弱い電気信号の伝わり方を体の表面から波形として記録したのが心電図です。

この検査では、不整脈や狭心症、心筋梗塞、心肥大、心筋炎などの診断に役立ちます。

検査の受け方

電極をつけるため両手首・足首、胸部が見えるようにしていただきます。力を抜いて、ゆったりとした気持ちでベッドに仰向けに寝ます。電気抵抗を少なくするため消毒綿で両手首・足首、胸部を拭き、電極シールを貼ります。

心電図の記録時間は約 20 秒で、検査の所要時間は 5～15 分程度です。

気をつけること

- ・ 記録中は動かないようにお願いします。
- ・ 足首を出していただくため、ストッキング・タイツは脱いでいただきます。
- ・ 時計、アクセサリーなどはそのまま大丈夫です。

